

申立人(債務者) 石割咲子 に関する

- 陳述書** (作成者: 申立人 (債務者) 石割咲子 (印))
- 報告書** (作成者: 申立代理人弁護士) (印)

□は該当するものを■塗りつぶすか、レ印をつけてください。

作成年月日 令和 3 年 10 月 1 日

盛岡地方裁判所 第2民事部 御中
 支部 御中

提出先が支部の場合は、支部名も記入してください(例「花巻」)。

※ 次の注意事項をよく読んでから、書いてください。

- 1 必ずペンを使って記入してください(鉛筆使用不可)。
- 2 一度書いたものを訂正する場合には、2本線で消し、その上から訂正印を押してください(修正液使用不可)。
- 3 内容に応じて、□にレ印を付けたり、必要事項を記入して作成してください(金額や年月日が正確にわからない場合でも、空欄とはせずに「約10万円」とか「5, 6年ころ」というように、おおよその数字を記載してください)。
- 4 各記入事項について空白の部分があった場合は、「ない」という趣旨に理解され、あなたにとって不利益となることもありますから、記入漏れがないようにご注意ください。
- 5 財産や債権者等について、故意に記入しなかったり、うそを記入した場合、免責が許可にならないことがあるばかりか、処罰される可能性(破産法265条-10年以下の懲役一等)もありますから、正直に記入してください。事実を隠したり、偽ったりすることは、あなたにとって不利益としかありませんからご注意ください。
- 6 記入欄が不足した場合には、便せんなどで別紙を作ってください。

第1 経歴について

本欄を記載した際は、右側の必要書類・注意事項をよくお読みください
(以下同じ)。

1 あなたの最終学歴を書いてください。

卒業(中退)年月	昭 [○] 平 [○] 令 9年 3月 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 中退
学校名・学部名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">○○学園</div> <input type="checkbox"/> 中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 専門学校 (普通科) <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 課程

2 あなたの結婚歴を書いてください。

- 結婚したことはありません。
- 結婚歴は次のとおりです。

婚姻(離婚)年月	相手方 (婚姻前の氏名)	慰謝料・養育費についての取り決め
昭 [○] 平 [○] 令 19年 6月結婚 昭・平・令 年 月離婚	石割 力男	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある
昭・平・令 年 月結婚 昭・平・令 年 月離婚		<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある
昭・平・令 年 月結婚 昭・平・令 年 月離婚		<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある

3 現在の職業から順にさかのぼって、これまでの職歴を書いてください。

ア 現在の仕事は次のとおりです。

- 無職です。

無職の理由	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 失業求職中 <input type="checkbox"/> 病気・ケガ <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> その他 ()
働けるめど	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (令 年 月ころから)

必要書類・注意事項

重 要

- 1 陳述書を書きながら、該当する□にし印を付け、必要な書類がそろっているか、記載漏れがないかを確認してください。
- 2 ここに挙げた必要書類は、例示したに過ぎません。ここに挙げた書類に代わるものがあれば、それを提出してください。

< 離婚により慰謝料等の支払義務があり滞納している場合 >

- その滞納分を債権者一覧表に記載してください。

< 離婚により相手方に慰謝料等を請求する権利がある場合 >

- 相手方に対する請求金額を財産目録に記載してください。

- 無職でも **所得証明書**

- 無職の理由が病気やケガの場合、**診断書またはその写し**

必要書類・注意事項

次の仕事をしています。

職業	<input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> 自営 <input checked="" type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 会社役員
勤め先 (店名)	××商事盛岡営業センター
就職時期	昭・平・ 令 2 年 5 月
手取り月収	約 80,000 円
ボーナス	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (年 回, 合計約 万円)
退職金制度	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (現在の支給見込額約 万円)

< 給与所得者の場合 >
 源泉徴収票写し(なければ所得証明書)
 直近2か月分の給料明細書写し
 (退職金制度があつて、かつ、就職後5年以上の場合)退職金試算書又は支給規程写し

< 自営業者の場合 >
 直近2年分の税金申告書写し
 個人事業者用報告書

< 会社役員の場合 >
 会社の登記事項証明書又はその写し

イ これまでの職歴は次のとおりです(過去10年分に限る)。

現在の1つ前の仕事	平・令 23 年 10 月～ 平・令 2 年 4 月 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> 自営 <input checked="" type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 会社役員 勤め先 (△△コープ) 月収 (約 75,000 円)
その前の仕事	平・令 年 月～平・令 年 月 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 会社役員 勤め先 () 月収 (約 円)
その前の仕事	平・令 年 月～平・令 年 月 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 会社役員 勤め先 () 月収 (約 円)
その前の仕事	平・令 年 月～平・令 年 月 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 会社役員 勤め先 () 月収 (約 円)
その前の仕事	平・令 年 月～平・令 年 月 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 会社役員 勤め先 () 月収 (約 円)

第2 家族・住居について

必要書類・注意事項

1 あなた以外の同居家族について書いてください。

続柄	氏名	年齢	職業(勤め先) 学校(学年)	手取り月収
夫	石割力男	42	無職	約 0 円
子	花子	13	中学1年生	約 0 円
子	太郎	11	小学5年生	約 0 円
				約 円
				約 円
				約 円

<収入のない家族の場合>
 手取り月収に0円を明記してください。

※年金でも、1か月分になおして金額を記載してください。

2 現在の住居について書いてください。

住み始めた時期	昭 平 令 23年 6月	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 自己所有又は共有 <input type="checkbox"/> 土地と建物 <input type="checkbox"/> 建物のみ <input type="checkbox"/> マンション <input checked="" type="checkbox"/> 親族・同居者の所有 所有者名 (石割力男) あなたとの関係 (夫) <input type="checkbox"/> 借りている。 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> 公営住宅 <input type="checkbox"/> 社宅・寮	
(注) この欄は借りている場合だけ書いてください。	借り主	<input type="checkbox"/> 自分 <input type="checkbox"/> 同居者
	家賃等	家賃(月 円) 敷金(円)
	家賃の滞納	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (滞納額 円)

<自己所有又は共有の場合>
 財産目録に記載が必要です。

<親族・同居者所有の場合>
 不動産登記事項証明書

<借家、アパート>
 賃貸借契約書(なければ家賃の領収書など)の写し

<公営住宅>
 住宅使用許可書の写し

<家賃の滞納がある場合>
 貸主を債権者一覧表に記載する必要があります。

第3 現在の家計の状態について

1 生計を同じくする家族の1ヶ月の収入と支出の内訳を、自分の借金返済分を除いて、書いてください(最近2か月分)。

(令和 3 年 8 月分)

収 入		支 出	
項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)
給料(自分)	80,000	家賃・管理費	
給料(同居者)		食費	50,000
自営収入(自分)		水道・光熱費	30,000
自営収入(同居者)		電話料	10,000
年金(自分)		衣類・日用品費	10,000
年金(同居者)		医療費	13,000
生活保護(世帯分)		教育費	15,000
失業保険(自分)		交際費・遊興費	17,000
失業保険(同居者)	140,000	保険料	15,000
児童手当(世帯分)		(保険契約者: 本 人)	
() からの援助		駐車場代	
		ガソリン代	9,000
		(車の名義人: 本 人)	
		同居者の借金返済	
		住宅ローン(夫)	56,000
前月からの繰越し	5,000	翌月へ繰越し	
合 計	225,000	合 計	225,000

※ 金額は算用数字で記入してください。

原則として、収入と支出の合計額は同一になります。

必要書類・注意事項

< 本人又は同居者が生活保護を受給している場合 >

生活保護受給証明書 写し

< 本人が失業保険を受給している場合 >

雇用保険受給資格者の写し(本人分)

< 本人が年金, 児童手当などの公的給付を受けている場合 >

受給証明書(なければ振込口座の通帳)の写し

< 保険料支出あり >

保険契約者を書いてください。

契約者が申立人本人の場合は、財産目録に解約返戻金の額などを記載する必要があります。

< 駐車場代, ガソリン代の支出あり >

車の名義人を書いてください。

車の名義が申立人本人の場合は、財産目録に時価などを記載する必要があります。

必要書類・注意事項

(令和 3 年 9 月分)

収 入		支 出	
項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)
給料(自分)	80,000	家賃・管理費	
給料(同居者)		食費	53,000
自営収入(自分)		水道・光熱費	30,000
自営収入(同居者)		電話料	10,000
年金(自分)		衣類・日用品費	10,000
年金(同居者)		医療費	13,000
生活保護(世帯分)		教育費	15,000
失業保険(自分)		交際費・遊興費	14,000
失業保険(同居者)	140,000	保険料	15,000
児童手当(世帯分)	20,000	(保険契約者: 本人)	
() からの援助		駐車場代	
		ガソリン代	10,000
		(車の名義人: 本人)	
		同居者の借金返済	
		住宅ローン(夫)	56,000
前月からの繰越し		翌月へ繰越し	14,000
合 計	240,000	合 計	240,000

※ 金額は算用数字で記入してください。

※ 1か月目のものと重複するものは、添付不要です。

< 本人又は同居者が生活保護を受給している場合 >

生活保護受給証明書 写し

< 本人が失業保険を受給している場合 >

雇用保険受給資格者の写し(本人分)

< 本人が年金, 児童手当などの公的給付を受けている場合 >

受給証明書(なければ振込口座の通帳)の写し

< 保険料支出あり >

保険契約者を書いてください。

契約者が申立人本人の場合は、財産目録に解約返戻金の額などを記載する必要があります。

< 駐車場代, ガソリン代の支出あり >

車の名義人を書いてください。

車の名義が申立人本人の場合は、財産目録に時価などを記載する必要があります。

2 今後、親族(配偶者を含む)の援助を受けられますか。

受けられる(援助者 から, 月 円)。
 受けられない。

原則として
収入と支出の合計額は同一になります。

- 3 過去2年以内に、あなたが受け取った金銭（給料・ボーナスを除く。例えば、保険の解約返戻金、退職金など）があれば、書いてください。

必要書類・注意事項

受領した金銭	受領の状況等
<input type="checkbox"/> 保険解約返戻金 <input type="checkbox"/> 退職金 <input type="checkbox"/> ()	受領時期 令 年 月ころ 相手方 (から) 受領金額 (円) 現在の残額 (円)
<input type="checkbox"/> 保険解約返戻金 <input type="checkbox"/> 退職金 <input type="checkbox"/> ()	受領時期 令 年 月ころ 相手方 (から) 受領金額 (円) 現在の残額 (円)

< 保険解約返戻金の場合 >

- 解約返戻金計算書
 返戻金の使途報告書

< 退職金の場合 >

- 退職金の支給明細書写し

- 退職金の使途報告書

※ただし、20万円以上の価値のある場合以外は、報告書は不要です。

第5 債務の発生と増加の原因について

- 1 債務の現状は、債権者一覧表及び滞納公租公課(税金)一覧表のとおりです。 債権者一覧表
 滞納公租公課(税金)一覧表
- 2 今回多額の債務を負担することになった理由について、次の項目からあてはまるものをすべて選んで、にレ印を付けてください。
 また、そのうち最も大きな理由となった項目のを塗りつぶし、としてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 生活費	<input checked="" type="checkbox"/> 借金返済のため
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 自分 <input type="checkbox"/> 家族) の事業失敗	<input checked="" type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 自分 <input checked="" type="checkbox"/> 家族) の失業
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 自分 <input type="checkbox"/> 家族) の収入減少・収入不安定	
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 自分 <input type="checkbox"/> 家族) の (<input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> ケガ <input type="checkbox"/> 出産)	
<input type="checkbox"/> 損害賠償・慰謝料など (<input type="checkbox"/> 交通事故 <input type="checkbox"/> 離婚 <input type="checkbox"/>)	
<input checked="" type="checkbox"/> 住宅ローン返済	<input type="checkbox"/> 引越
<input type="checkbox"/> 子供の学費、仕送り	<input type="checkbox"/> 冠婚葬祭費用 (詳細は)
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 親族 <input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> 会社) の保証人になった。	
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 親族 <input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> 会社) への資金援助・名義貸し	
<input type="checkbox"/> 仕事上の経費立替えや穴埋め	<input type="checkbox"/> 仕事のノルマ達成のため自社製品を購入
<input type="checkbox"/> 飲食、飲酒	<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 異性 <input type="checkbox"/> 同僚 <input type="checkbox"/> 顧客) との交際
<input type="checkbox"/> 商品購入 (<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 装飾品 <input type="checkbox"/> 布団 <input type="checkbox"/> 教材 <input type="checkbox"/> 絵画)	
<input type="checkbox"/> その他 ()	
<input type="checkbox"/> 旅行 (<input type="checkbox"/> 海外 <input type="checkbox"/> 国内)	<input type="checkbox"/> 株取引、先物取引
<input type="checkbox"/> ギャンブル (<input type="checkbox"/> パチンコ <input type="checkbox"/> 競馬 <input type="checkbox"/>)	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

うまく書けないときは、こちらの記載要領をお読みください。

必要書類・注意事項

3 今回、多額の債務を負担することになった理由を文章(箇条書きでも可)で、詳しく説明してください。

(注) 個人事業者の場合は、ここに書かずに、個人事業者用報告書に書いてください。

平成19年6月、現在の夫と結婚し、平成20年に長女、平成22年に長男が生まれました。当時、建設会社に勤める夫の給料は手取りで28万円ほどでボーナスもあったことから、平成23年6月に現住所地に一戸建てを購入し、親子4人の生活を始めました。しばらくは生活も順調で、私もクレジットでときどき衣服を購入していました。ところが、平成28年ころから、夫の会社の業績は悪化、残業手当やボーナスが減らされ、住宅ローンはもちろん、日々の生活費にも事欠くようになりました。私は夫にお金が足りないことは言い出せず、×××クレジットや△△△のカードで食品を購入するようになり、次第にカードのキャッシングを利用して生活費の足りに充てるようになりました。平成30年ころにカードの限度枠を超えると、サラ金の○×□△ローンからも借りるようになりました。昨年10月には、夫がリストラにより会社を退社しました。これまで、夫の失業手当と私のわずかなパート代でどうにか生活していましたが、失業手当も今月で打ち切られる予定です。今後、子供らの将来を考えるとこれ以上返済し続けることができなれないと思い、本申立てをするに至りました。

次の事柄を、出来事が起こった順にしたがって書いてください。

- 1 最初の借入(購入)のきっかけ
- 2 債務が増えた経緯
 - ① いつ、どのような仕事をしているときか
 - ② 当時の月収がいくらだったか
 - ③ 当時の借金の総額がいくらだったか
 - ④ どのような事情のために借金(又は商品を購入)したか
 - ⑤ どこからいくら借金(又は商品を購入)したか
 - ⑥ どのような事情があって返済できなくなったか

< 書ききれない場合 >

便せんなどを別紙として使用し、詳しく書いてください。

4 支払が困難になった時期とその状況について

ア 自分の収入だけでは返済ができず、返済のための借金を始めた時期を書いてください。

時 期	平・令 30 年 3 月ころ
当 時 の 状 況	手取り収入(月 20 万円), 弁済に必要なだった金額(月 9 万円)

イ 借金を返済するのが不可能だと思い始めた時期とその理由を書いてください。

時 期	平・令 2 年 10 月ころ
そ の 理 由	<input type="checkbox"/> 収入より返済額が多くなったから <input type="checkbox"/> 貸付を断られたから <input checked="" type="checkbox"/> 失業したから (夫が) <input type="checkbox"/> 病気になったから <input type="checkbox"/> その他 ()

ウ 現在の返済状況について書いてください。

- 平・令 2 年 12 月ころから、どの債権者にも全く支払っていない。
 現在も、次の債権者に支払っている(債権者一覧表の番号も記入すること。)

債 権 者 名				
毎月の返済額	円	円	円	円

(以下は該当する場合に記入すること。債権者名を記入する際は債権者番号も記入すること。)

エ 借金の返済が不可能だと思い始めた後に、さらに借入やクレジットで商品を購入したことがあれば、その時期と債権者名を書いてください。

時 期	平・令 年 月	平・令 年 月	平・令 年 月	平・令 年 月
債 権 者 名				

オ 現在保証人が支払っている債務があれば、その債権者名などを書いてください。

債 権 者 名	
毎月の返済額	()円 → その金を私から渡して(<input type="checkbox"/> いない。 <input type="checkbox"/> いる。)

カ 借りたまま、一度も返済していない相手(債権者)がある場合のみ、その債権者名を書いてください。

債 権 者 名	(有) ○×□△ ローン		
---------	-----------------	--	--

5 これまでの生活状況について、次の項目からあてはまるものを選び、その時期、回数、金額などを書いてください。

記憶のとおり正直に記入してください。

バー、クラブ、スナック等で、1回あたり1万円以上の飲食をしたことがある。

行った時期 (1番よく行った時期)	年 月ころから 年 月ころまで
行った回数 (1番よく行った回数の回数)	1か月平均 回数 (1か月 回数)
使った金額 (1番使った金額)	1か月 万円くらい (1か月 万円くらい)

パチンコ、競馬などのギャンブルをしたことがある。

ギャンブルの種類	<input checked="" type="checkbox"/> パチンコ <input type="checkbox"/> 競馬 <input type="checkbox"/> その他 ()
していた時期 (1番よくしていた時期)	令和2年 4 月ころから 令和2年 8 月ころまで (令和2年 7 月ころから 令和2年 8 月ころまで)
していた回数 (1番よくしていた回数の回数)	1か月平均 4 回数 (1か月平均 8 回数)
使った金額 (1番使った金額)	1か月平均 5 万円くらい (1か月平均 8 万円くらい)

株取引や先物取引をしたことがある。

取引をしていた時期	年 月ころから 年 月ころまで
取引の内容	
使った金額	1か月平均 万円くらい

過去5年以内に1回(又は1個)10万円以上の商品購入、旅行をしたことがある。

時期	内容	金額(円)	支払方法	信販会社名
令和2年 12 月	ハンドバック	150,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジット	×××クレジット
年 月			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジット	
年 月			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジット	

第6 借入などをするときの事情について

1 次の項目からあてはまるものを選び、そのときの事情を書いてください。

他人の名前を使って借入などをしたことがある。

記憶のとおり、正直に記入してください。

どの債権者から借入などをしたときですか。	
誰の名義で借入などをしたのですか。	(氏名) (あなたとの関係)
その人から承諾をもらいましたか。	<input type="checkbox"/> 本人に無断で申し込んだ。 <input type="checkbox"/> 前もって承諾をもらった。 <input type="checkbox"/> 後で承諾をもらった。
債権者は、そのことを知っていますか。	<input type="checkbox"/> 知っていると思う。 <input type="checkbox"/> 知らないと思う。

真実と違うことを言って借入などをした。

どの債権者から借入などをしたときですか。	
何について真実と違うことを言いましたか。	<input type="checkbox"/> 生年月日 <input type="checkbox"/> 氏名 <input type="checkbox"/> 住所 <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 他社からの借入総額 <input type="checkbox"/> 借入金の使いみち <input type="checkbox"/> ()
本当はどうだったのですか。	
それなのに、どのように言ったのですか。	

2 現金に換える目的で、クレジットを利用して商品を購入したり、架空のローンを組んで現金を得たことがある場合のみ、その契約内容などを書いてください。

時 期	品 名	購入金額(円)	信販会社名	受領金額(円)	処分先
年 月					
年 月					
年 月					
そのきっかけは、次のうちどれですか。	<input type="checkbox"/> 自分で考えた。 <input type="checkbox"/> 第三者 (<input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/>) に教わった。 <input type="checkbox"/> テレビや新聞の広告を見たり、業者(販売店)に勧められた。				

第7 過去の負債整理等について

1 次の項目からあてはまるものを選び、そのときの状況を書いてください。

過去に、負債整理の資金を援助してもらったことがある。

いつごろですか。	平・令 年 月ころ
だれからですか。	(氏名) (あなたとの関係)
いくらですか。	万円
その結果、どうなりましたか。	<input type="checkbox"/> 完済された。 <input type="checkbox"/> 一部(万円)残った。
※ 以下の質問には、「一部残った」場合のみ答えてください。	
どうして残ったのですか。	<input type="checkbox"/> 債務の一部を隠していたから <input type="checkbox"/> 資金が足りなかったから <input type="checkbox"/> その他 []
残った債務は、現在の債務に影響していますか。	<input type="checkbox"/> 影響している。 <input type="checkbox"/> 影響していない。

今回の破産申立前に、負債整理について債権者と話し合いをしたことがある。

どのような話し合いをして、その結果はどうなりましたか。	<input type="checkbox"/> 任意の話し合い(弁護士による任意整理を含む)をした。 <input type="checkbox"/> 簡易裁判所に調停を申し立てたが、 [<input type="checkbox"/> 不成立 <input type="checkbox"/> 取下げ] で終了した。 <input type="checkbox"/> 調停が成立したが、返済できなかった。
-----------------------------	--

第8 過去の破産・免責について

これまでに破産手続開始決定(破産宣告決定)を受けたことがある場合には、その時期と裁判所名、結果などを記入してください。

破産手続開始決定(破産宣告決定)の時期	昭・平・令 年 月 ころ
裁判所名	地方裁判所 支部
破産事件の番号	昭和・平成・令和 年(フ)第 号
免責許可決定(免責決定)を受けたことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある(昭・平・令 年 月 ころ) <input type="checkbox"/> ない(その理由は、次のとおりです。) <input type="checkbox"/> 免責の申立てをしなかったから <input type="checkbox"/> 申し立てたが、免責不許可となったから <input type="checkbox"/> 申し立てたが、却下となったから

必要書類・注意事項

- < 破産手続開始決定(破産宣告決定)を受けたことがある場合 >
- 破産手続開始決定(破産宣告決定)の写し
- < 免責許可決定(免責決定)を受けたことがある場合 >
- 免責許可決定(免責決定)の写し
- < 免責不許可決定や免責申立却下決定を受けたことがある場合 >
- 免責不許可決定の写し
- 免責却下決定の写し

第9 反省すべき点や今後の生活の見込みを書いてください。

未曾有の不景気の影響もありましたが、夫が会社をリストラされるなどということは
数年前までは思いもしていませんでした。今思えば、平成28年ころに、収入が減った
ときから身の丈にあった生活をすべきでしたが、昔の生活レベルを忘れられず、
備金をしていてもこれまでと同じような暮らしをしていました。

今後は、夫も早く仕事を見つけて、子供たちの将来を第一に考えて、収入に見合った
範囲内で、親子4人の生活をしていきたいと思えます。

今回、このような申立てをしたことにより、債権者の皆様にはご迷惑をおかけする
ことになり、大変申し訳ない思いでいっぱいです。